

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間2023年5月～2024年4月



株式会社オート桑名 (マツダオートザム桑名店)

作成日 2024年5月25日

改定日 2024年6月27日

目 次

環境経営方針	1
事業活動の内容	2
環境経営目標	3
環境経営計画	4
実施体制	5
環境経営計画の取組み結果、次年度の取組み内容	6
環境関連法規への違反・訴訟の有無	7
代表者による全体の評価及び見直し	8

①環境経営方針

基本理念

株式会社オート桑名は自動車販売・自動車整備の事業活動において、環境を考慮した整備の実施や、リサイクル部品を積極的に活用する事で環境負荷の低減を図ることを目標として、会社一丸となって自主的、積極的に環境保全活動に取り組みます。

行動指針

- 1 環境に配慮し二酸化炭素の削減と省エネルギー活動に努めます。
- 2 限りある資源を大切にするため、水使用量の削減に努めます。
- 3 産業廃棄物の削減と産業廃棄物の分別による資源の有効利用に努めます。
- 4 環境に配慮した商品の提供及びグリーン購入を促進します。
- 5 環境目標・活動計画を定めて、継続的な改善に努めます。
- 6 環境に関する法令規制等を遵守します。
- 7 社会貢献活動を日常的に行います。
- 8 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

2015年11月1日

株式会社オート桑名
(マツダ オート ム桑名店)

代表取締役

中村利也

② 対象組織・活動範囲

1

- (1).事業社名及び代表者
株式会社オート桑名（マツダオートザム桑名）
代表取締役 中村 利也

- (2).所在地
〒511-0944
三重県桑名市芳ヶ崎1438-1

- (3).環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	役職	部長 中村 壮志
EA21環境推進事務局	担当	中村 里沙
連絡先	TEL : 0594-31-1313 FAX : 0594-31-9655 e-ma : maz.kuwana@outlook.jp	

- (4).事業内容
マツダブランドの新車販売
新車・中古自動車販売
部品・用品販売
自動車整備業（車検・点検・修理等）
損保保険の取り扱い

- (5).事業の規模

総床面積	205m ²
従業員数	9名
年間売上高	351百万円
年間販売台数	186台
年間整備入庫台数	1990台

（注）上記実績は、2023年5月～2024年4月までの実績値

- (6). 事業年度 5月～4月



2 認証登録の対象組織・活動の範囲

対象組織 株式会社オート桑名（マツダオートザム桑名店）
対象活動： 自動車、自動車部品の販売
自動車の修理・整備
損保保険の取り扱い

③次年度環境経営目標設定書

作成日：2023.5.25

作成者：中村 里沙

EA21負荷の自己チェック		基準年度(5月～翌年4月)		目標					
		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
		実績		基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値
二酸化炭素 排出量削減	電力削減	CO2排出量 (kg-co2)	9,883	▲1%	9,784	▲2%	9,685	▲3%	9,586
		使用電力量 (kwh)	21,865	▲1%	21,646	▲2%	21,428	▲3%	21,209
	自動車燃料削減	CO2排出量 (kg-co2)	19,140	▲1%	18,949	▲2%	18,757	▲3%	18,566
		ガソリン (ℓ)	4,714	▲1%	4,667	▲2%	4,620	▲3%	4,573
		軽油(ℓ)	3,170	▲1%	3,138	▲2%	3,107	▲3%	3,075
	排出量合計 (kg-co2)		29,023	▲1%	28,733	▲2%	28,443	▲3%	28,152
廃棄物排出 量削減	一般廃棄物削減	排出量 (kg)	426	▲1%	422	▲2%	417	▲3%	413
	産業廃棄物削減	排出量 (kg)	3,428	▲1%	3,394	▲2%	3,359	▲3%	3,325
	排出量合計 (kg)		3,854	▲1%	3,815	▲2%	3,777	▲3%	3,738
排水量削減	水使用量削減	排出量(m³)	147	▲1%	146	▲2%	144	▲3%	143
環境配慮資 材購入	リサイクル部品使用	購入数(件)	13	110%	19	120%	21	130%	23

- (注) 二酸化炭素排出係数は2022年度 中部電力0.459(調整後排出係数)を使用
- (注) 「環境目標設定書」は、毎年実施する「代表者による見直し」の結果を踏まえ、目標数値を見直します。
- (注) 目標値は2021年度を基準年度とします。
- (注) 目標年度は5月～4月とします。
- (注) 化学物質は使用しておりません。

④環境経営計画

作成日：2023.5.25

作成者：中村 里沙

●二酸化炭素排出量削減

①電気使用量の削減

- ・メジャーサインの点灯/消灯設定確認
- ・不要な照明の消灯確認(昼休みの消灯確認)
- ・エアコンの温度設定確認(夏場27℃、冬場22℃基準としお客様状況に応じて設定)
- ・OA機器は省電力設定にする
- ・コンプレッサエア漏れ点検(2回/年)
- ・クールビズの実施(5月～10月)

②化石燃料使用量の削減

- ・エコドライブを実践：急発進・急停止・空ぶかしの排除・控えめのエアコン
- ・車両管理の徹底:車両点検、適正空気圧、エアフィルタ清掃
- ・代車の使用控え

●廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物の削減：分別の徹底・リサイクル可能品の増加

②コピー用紙の削減：裏紙利用・両面印刷・マニュアルの電子化

③産業廃棄物の削減：分別徹底・資源化促進

●水使用量の削減

- ・節水啓蒙活動：節水表示の明示
- ・節水の実施:手洗い時・洗車バールの使用
- ・水漏れ点検：蛇口水漏れ点検、漏水チェック

●仕事を通じた環境貢献

- ・リサイクル部品の使用(リビルト/中古品含む)
- ・お客様に点検・車検入庫時エコドライブを推奨する

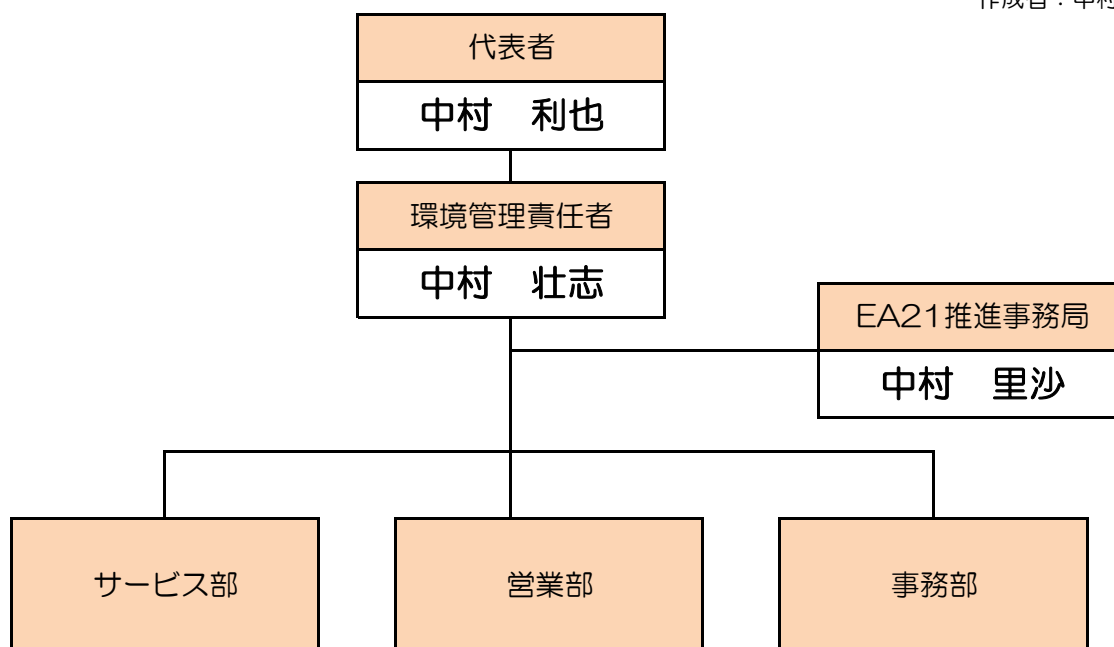
●社会貢献

- ・毎朝の清掃時間に、会社周辺の清掃を実施
- ・高校生のインターンシップ受入

⑤実施体制

作成日：2023.5.25

作成者：中村 利也



担当者	役 割
代表者	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 ＜店長＞	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する （※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲） ・ EMSの構築、実施、管理 ・ 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの承認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートしEA21推進担当者として全社の環境取り組みを推進・管理 ・ サービス領域の環境取組みに責任を持ち取り組む ・ 環境データの集計・取りまとめ ・ 環境経営計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の作成 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成・公開
全従業員	・ 環境経営方針を理解し環境への取組の重要性を自覚 ・ EA21について決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

⑥環境経営計画の取組み結果、次年度の取組み内容

①2023年5月～2024年4月の期間の環境経営目標の実績

項目		単位	目標	実績/目標		評価
				実績 2023年5月～2024年4月	対目標	
電力使用量		kwh	21,646	24,632	114%	×
化石燃料	ガソリン使用量	L	4,667	2,634	56%	○
	軽油使用量	L	3,138	3,652	116%	×
二酸化炭素排出量		Kg-CO2	28,733	26,863	93%	○
一般廃棄物排出量		Kg	422	416	99%	○
産業廃棄物排出量		Kg	3,394	2,576	76%	○
水使用量		m³	146	160	110%	×
リサイクル購入		件	19	4	21%	×

【達成判断基準】○・・・達成 △・・・前年と同じ ×・・・未達成

②取組み結果の評価と次年度の取組み

電力使用量の削減	エアコンを替えたことで、消費電力が期待できましたが昨年より増加となりました。 暖房を使用する冬場の消費電力が多い傾向だったので、エアコンの温度調整やこまめな消灯を心がけていきます。
化石燃料の削減	ガソリンは大幅に減少しましたが、軽油がその分増加しました。全体で見ると減少しています。 納車の増減で大きく左右される為、社用車運転時等日々のエコドライブを心がけていきます。
二酸化炭素排出量削減	化石燃料は全体で減少しましたが、電力使用量は増加。 今後も会社全体で意識を持って取り組んでいきます。
一般廃棄物の排出量削減	資源ごみ等の分別の取組により、一般廃棄物は減少しました。 引き続き分別を徹底し、一般廃棄物削減に取り組んでいきます。
産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物は減少。 今後も分別を徹底し、リサイクル活動を推進していきます。
水使用量の削減	水使用量は増加。入庫台数により増減する項目なので、節水シャワーヘッドにする等、 今後も節水に心掛け削減に努めていきます。
リサイクル購入の増加	故障の際、新品部品もしくは車両代替となりリサイクル部品使用は減少。 リサイクル購入をお客様にご提案し、今後も継続して購入努力していきます。
総合結果	全体的に増加傾向にありますが、産業廃棄物のように削減できている項目もあります。 今後の活動の中で、アイデアと工夫で目標達成できるよう取り組んでいきます。

*次年度の取組み 環境活動計画を継続します。

⑦ 環境関連法規の取りまとめ/遵守評価結果

遵守評価対象期間2023年5月より2024年4月まで

作成日：2023.5.25
作成者：中村 里沙
評価日：2024.05.18

適用法令等	要求事項	評価 2024年5月より 2023年4月まで
廃棄物処理法	廃棄物の保管管理(表示等) (12条)	遵守
	産業廃棄物の適正処理(収集運搬、処理業者への委託) (12条)	遵守
	産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付と期間内処理の確認(12条の3)	遵守
	管理票交付状況の県知事への年度報告 (12条の3)	遵守
騒音規制法	騒音発生施設設置の届出(空気圧縮機、送風機7.5kW以上) (6条)	該当なし
	規制基準の遵守 (5条)	
振動規制法	振動発生施設設置の届出(空気圧縮機、送風機7.5kW以上) (6条)	該当なし
	規制基準の遵守 (5条)	
水質汚濁防止法	特定施設の設置届出(自動式車両洗車機) (5条、7条)	該当なし
	油水分離装置の管理(14条の2)	
下水道法	特定施設の設置届出(自動式車両洗車機) (12条の3)	該当なし
浄化槽法	特定行政庁への設置届出(5条)	遵守
	保守点検基準の遵守(8条)	遵守
	清掃、水質検査基準の遵守(11条)	遵守
消防法	少量危険物の届出(9条の4)	該当なし
フロン排出抑制法	業務用IPJの漏洩点検(16条)	遵守
	業務用IPJの修理・廃棄時適性回収・破壊義務(41条)	遵守
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し(6条)	該当なし
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理(8条、73条)引取り業者の登録(42条)	遵守
マダとの取り決め	IoTアクション21認証・登録と更新	遵守

2.違反・訴訟の有無

違反・訴訟の有無は環境関連法規等の遵守状況として環境関連法規等一覧表により遵守状況を確認した結果違反はありません。
なお関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません

⑧代表者による全体の評価及び見直し結果

対象事業所	株式会社オート桑名
活動期間	2023年5月～2024年4月

作成者		環境管理責任者 中村	
見直し 関連情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	実施	マニュアル内容を体系・記録一覧表に整備を行いました。
	2 環境目標及び目標達成状況	実施	達成できた項目に関しては継続・未達の項目は改善策を考え実行します。
	3 環境活動計画及び取組実施状況	実施	社内での啓発活動・取組みへの周知徹底を行いました。
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	確認	産業廃棄物業者との委託契約書の確認 マニフェストの管理・徹底を行いました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	_____	特にありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	確認	特にありませんでした。
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	確認	当社がエコアクション21に取り組み環境活動の実践をアピールしていきます。
	8 是正処置・予防処置	_____	特にありませんでした。

評価者	代表取締役 中村 利也	実施日	2024.5.18
-----	-------------	-----	-----------

全体評価・コメント（環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等）
エコアクションの取組により、社員にも意識付けができてきているように感じます。車両の販売や
入庫台数に左右される項目も多いので、引き続き動向を確認し、目標達成に向け活動していきま
す。

代表者による 全体評価・見直し	見直し項目		変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1	環境方針	有 ○ 無	
	2	環境目標	有 ○ 無	
	3	環境活動計画・取組項目	有 ○ 無	
	4	環境に関する組織	有 ○ 無	
	5	その他のシステム要素	有 ○ 無	
	6	その他（外部への対応）	有 ○ 無	